



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

令和 4 年 1 月 7 日

岡山市長 大森 雅夫 様

団体名 とくていひ え い りかつどうほうじんじょうとうだい 特定非営利活動法人城東台みんなの互助会 ごじょかい

所在地

連絡先

代表者 役職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域で支え合う仕組みづくり
事業実施小学校区・地区	城東台学区
事業実施回数	新規・継続 2 回目 / 【令和3年度から】
課題	城東台学区では80歳以上の高齢者が既に230人を超え、今後、高齢者夫婦のみの世帯や単身高齢者の増加が見込まれている。 一昨年度、各町内会と当NPO法人が共催でおこなったアンケート調査では、近隣による家事援助、安否確認、避難支援など、平時と非常時双方での支援を希望する世帯が相当数に上るとともに、「今は大丈夫だけれど」との記述も多くあり、将来不安が垣間見える結果が示されたことから、地域で支え合う仕組みづくりに取り組む必要性が高まっているといえる。 アンケートを受けて各町内会では、互助の仕組みづくりの第一歩として令和2年度に班別ミーティングをスタートし、まずは平時の関係づくりに着手するとともに、ちょっとした家事援助について、近隣でできる支援と支援チームを立ち上げなければ難しい支援について整理している。 当NPO法人としては、後者の支援チームづくりの役割を視野に、地域における互助の一翼を担うことを目指している。
事業の目的	地域における家事・生活支援事業や相談事業を立ち上げ、安心して住みやすい地域づくりを目指す。

事業の内容	1)家事・生活支援事業 ①名称 ・城東台ご近助くらぶ ②互助により、家事・生活支援事業を行うに当たり、以下の態勢づくりを継続する。 ・サポーター(ボランティアスタッフ)の養成と募集 ・運営を担うコーディネーターの養成 ③互助により、以下の家事・生活支援事業を行う ・訪問等による家事・生活支援事業(原則、高齢者のみの世帯を対象とする) ➢ 屋内での家事等支援 (一例)家具の固定・移動、ゴミ出し、掃除、電球交換等 ➢ 屋外(庭先)や外出の家事等支援 (一例)草取り、庭木の枝払い、水遣り、外出の付き添い等 2)相談支援事業 ①身近な相談窓口の開設 ➢ 専門性を有する多彩な相談員による相談会等 ・健康関連・・・鍼灸・マッサージ師、薬剤師、歯科医、整形外科医、内科医等 ・生活関連・・・家電、パソコン、葬祭、庭木、保険、障害、子育て、教育、行政手続き等 3)活動内容と感染防止対策の内容・方法 ①訪問による支援事業 ・事前検温、手指消毒 ・ワクチン接種者を派遣 ・マスクの着用 ②相談会(相談員・相談者とも) ・会場での検温、手指消毒 ・マスクの着用 ・アクリル板設置 ・1時間おきの換気
-------	--

期待される成果・目標	➤ 高齢世帯の孤立の解消 ➤ 住民のQOLの向上 ➤ 学区における互助力の向上
企画などの工夫	➤ 各町内会並びに学区内の各種団体と連携し、多様なボランティア人材の確保に努める。 ➤ 草刈り等の機材については、各町内会等から借用し、作業を行う。 ➤ 運搬に必要な軽トラについては、町内会等が調達し、廉価で借用。 ➤ 訪問等による家事・生活支援事業は、2名以上の派遣(外出を伴う場合は除く)を基本とし、無料では却って頼みづらいことから原則、1時間ワンコイン(500円)の利用料金を設定。 また、専門性を有する相談員による相談会は無料で実施。 ➤ 金銭の授受を簡素化するため、利用料金は謝礼としてボランティアスタッフが受け取る。
協働する団体等	1.主たる活動を担う組織＝「NPO法人城東台みんなの互助会」 2.協働する団体 (自治会) 城東台西町内会、城東台東町内会、城東台南町内会、城東台学区連合町内会 3.協働を予定している団体 (協力)城東台学区安全・安心ネットワーク、城東台学区社会福祉協議会、 城東台学区環境美化協議会、みちくさ会、城東台さつき会、民生委員会 協賛事業者等
事業の情報公開	➤ 学区内の世帯に城東台ご近助くらぶ NEWS(2回/年)を全戸配布にて行う。 ➤ SNS等の活用も検討する。
学区地区への広がり	➤ これまで、学区内での課題解決手法(アンケート調査)に則って課題形成を行ってきた経緯の上で、学区内関係団体と検討を重ね、事業化を模索してきたことから、既に大勢として学区内でのコンセンサスを得ている。 ➤ 今後、活動の過程で支援メニューの多様化(広がり)を目指す。

次年度以降の予定	①次年度以後の活動計画 継続事業として、利用を増やしていきたい。 ②資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☒ (1～3)年後の状況は、現時点では見通せない。 【資金確保の具体的な方策】 今後の検討課題とする。
----------	---

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	総会開催(新年度開始)
5月	相談会開催①
6月	
7月	ご近助くらぶNEWS-Vol.3各戸配布
8月	
9月	
10月	相談会開催②
11月	
12月	令和5年度区づくり推進事業申請
1月	ご近助くらぶNEWS-Vol.4各戸配布
2月	(事業経過の取りまとめと、次年度の事業検討及び方針決定)
3月	(総会準備)

収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	120,000	81,000	
実施団体負担金	50,000	71,000	
参加者負担金			
収入合計	170,000	152,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	15,000	5,000	封筒、宛名シール等事務用品費
②食糧費		5,000	会議用お茶代等
③印刷製本費	32,000	17,040	NEWS印刷代: @5000円×2 学区案内: 各戸配布・回覧等5000円 資料等印刷: 2000円
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	50,000	48,000	ワイモバ代: @4000円×12
⑦広告料			
⑧手数料	4,540	5,000	振込手数料
⑨使用料・賃借料	34,000	48,600	相談会等会場使用料: 4000円 事務所賃借料: @3300円×12 軽トラ使用料: @500円×10
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	15,000	10,000	講師交通費
⑭保険料	9,460	3,360	80人×42円(2021年度実績ベース)
⑮旅費			
小計(①)	160,000	142,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	10,000	10,000	アクリル板、消毒、マスク等
小計(②)	10,000	10,000	
支出合計(①+②)	170,000	152,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ <u>希望しない</u>
----------------	---------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

--

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。